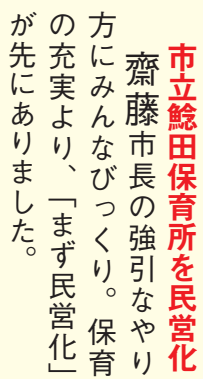


合併から3年目。飯塚市の
新年度予算は、住民サー
ビスの低下がいっぱいです。
市長は、「お金がない」
といいますが、日本共産党
市議団の追及によって、ム
ダづかいや不透明な予算が
浮かび上がりました。くら
しを応援する清潔な市政め
ざし力をあわせましょう。

一般会計541億円



日本共産党飯塚市議団

3月の市議会に出された後期高齢者医療制度の関連議案。日本共産党市議団は「中止・撤回せよ」の立場の賛成討論の中で、「今後のあり方を見守りたい」と容認する立場を表明し、関連議案に賛成しました。

主な論戦

- ・ 予算特別委員会
- ・ 部落解放同盟補助金
- ・ 行財政改革と市財政
- ・ 新型インフルエンザ

を特別あつかいするものです。

農業後継者対策予算、たった14万円

企業誘致関連では、今年度だけで約9億8000万円を投入。鯉田工業団地開発を含めると、ここ数年のうちに数十億円の入金になります。

新しい企業立地促進補助金制度では、申請もしていない特定企業の名称を上げて1577万円を予算計上しています。

また、名古屋事務所の設置に1220万円を使

市立鯉田保育所の民営化が急ピッチで進められています。市長は、「公営として残すのは1か所程度」と言い放ちました。

75か所ある浄水施設の管理運営は、市発注工事をめぐる談合疑惑が残る水道機工に民間委託したままです。どうしても不透明感がつきまといま

企業誘致関連予算
●鯉田工業団地造成
9億5400万円
●名古屋事務所1220万円
●企業立地促進補助金1577
万円（新規）

24億7000万円を投ずる鯉田工業団地
づくりの用地(4月)

子ども医療費無料の対象が4月から、小学校入学前までに広がりました。子育て世代の切実な願いが反映したものです（資格証明書世帯では申請が必要）。

日本共産党は公約実現めざし、さらに、小学6年生まで広げるようにがんばります。

「株式会社 飯塚市の創業」(齋藤市長)とは何か 市民にとっては「痛み」拡大の始まり



ムダを削れば、子育て支援がもっと進みます



「お金がない」といいながら、不透明・ムダが

使途明細不明でも

部落解放同盟補助金

今年度 **4737万円**

↑ 部落解放同盟の補助金問題を追及した日本共産党市議団の議会質問と市の答弁を知らせる市議団ニュース27号

部落解放同盟への団体補助金は4737万円 (今年度) です。大半は団体幹部など特定個人に対する支出に当てられます。

2006年度の補助金は約5632万円。市の資料によると、使途の明細が不明なものがいっぱい。約500万円をかけた研修は、期間、行先、参加人数がほとんど不明のまま。「飯塚市長選挙齋藤守史氏出陣式25000円」「松本友子出陣式 (選対事務所) 73000円」の支出もあり、法違反の疑いが指摘されます。

同和行政は、すでに国は終結しており、同和団体補助金は必要ありません。

展望みえないまま

鯉田工業団地づくり

9億5400万円

鯉田工業団地づくり (右図参照) には、今年度9億5400万円、完成までに総額24億7千万円 (支払い利息含む) をつぎ込む計画です。工業団地は周辺自治体に、計画中を含めてあり余るほどあり、市長は、「地域間競争を勝ち抜く」というばかりで、「本当に必要なのか」の質問には答えられません。

企業誘致で雇用拡大といいますが、「お金がない」と叫ぶ市長が、展望が見えないまま巨額の財政投入を急ぐのはなぜでしょうか。不透明さが目立ちます。

飯塚リサーチパークづくり (幸袋地区) では、土地が売れず、借金返済に税金を47億7千万円もつぎ込んだことがあります。それでも市長は「失敗ではない」と言い張ります。何の反省もないまま、借金を重ねるやり方はまともではありません。

鯉田工業団地 (右図参照)

飯塚リサーチパークづくり (幸袋地区) では、土地が売れず、借金返済に税金を47億7千万円もつぎ込んだことがあります。それでも市長は「失敗ではない」と言い張ります。何の反省もないまま、借金を重ねるやり方はまともではありません。